

公共事業再評価調査

整理番号 H15 - 17

担当部課室名	県土整備部 道路課	電話番号	0 1 7 - 732 - 9651
		E - MAIL	doro @ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工 長期継続 (年) 再評価後 (5 年) その他 ()
---------	-------------------------------------

1 事業概要

事業種別	国道改築事業	事業主体	県 市町村 其他 ()					
事業名	国道 338 号道路改築事業	地区名等	長後バイパス 市町村名 佐井村					
事業方法	国庫補助 県単独	財源・負担区分	国 55% 県 45% 市町村 % 其他					
採択年度	平成 元 年度 (用地着手 平成 元 年度 / 工事着手 平成 4 年度)							
終了予定年度	平成 22 年度 (年 月計画変更 当初計画時 18 年度)							
事業目的	・急カーブ、急勾配が連続し、幅員狭小、落石崩壊危険箇所、地滑り地形の交通の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通を確保するとともに、災害時の緊急輸送路の確保、下北半島の観光拡大にも寄与するものである。							
主な内容	全体延長 L = 2,560m 幅員 W = 6.0(8.0)m 橋梁 1 基 L = 52.0m							
事業費	再評価時総事業費 2,400 百万円 (単位:百万円)							
		~12年度	13年度	14年度	15年度	小計	16年度~	合計
	計 画 (うち用地費) 年 月変更	()	()	()	()	1,637 (81)	763 (38)	2,400 (119)
	実 績 (うち用地費)	865 (96)	80 (3)	30 (18)	130 (1)	1,105 (118)	1,295 (1)	2,400 (119)

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

(A) ・ B ・ C

事業の進捗状況	事業費割合 (うち用地費)	計画全体に対する進捗 46% [/] (99.2%) [/]	年次計画に対する進捗 67.5% [/] (145.7%) [/]
	主要工種毎割合 (事業費)	改良工 (1,654百万円) 橋梁工 (410百万円) 舗装工 (217百万円) 用地 (119百万円)	改良工 57.4% 橋梁工 9.0% 舗装工 0% 面積割合 96.7%
			面積割合 141.8%
	説明	地滑り対策の検討と国有林野の保安林解除に期間を要したものの、平成 14 年度に国有林野の保安林を解除し所管換手続きを済ませており、今後積極的に工事の進捗を図っていく。	
	問題点・ 解決見込み	一部共有地があるものの、事業認定の準備を進めることとしており、解決する見込みである。	
事業効果 発現状況	地滑り対策として集水井工を 1 基施工しており、その付近の水位が低下して、地滑り対策の効果がでている。		

(2) 社会経済情勢の変化

(A) ・ B ・ C

社会的 評価	全国・本県 における評価	【全国の評価】 ・従前各分野別の長期計画、道路でいえば「道路整備五ヶ年計画」を策定していたが、国土交通省内の各分野を統合した「社会資本整備重点計画」を今年度策定することになっている。 ・道路特定財源については、暫定税率の適用期限を 5 年間延長することとなっている。	【県内の評価】 ・公共交通機関の未整備な本県にとって、車を主とする交通に頼らざるを得ない状況であるが、まだ未整備区間が多く(国・県道の改良率 全国 71.5%、東北 6 県 74.5% 青森県 69.2%)、さらに豪雪地帯であり冬の安全確保や社会基盤整備としての道路整備に対する要望は多い。
	当地区にお ける評価	・当該地区は、急カーブが連続し、幅員狭小の隘路区間であり、落石崩壊や地滑りの危険もあるため、早期の道路整備が求められている。	
必要性	・当該路線は、県が管理・整備する国道である。 ・当該地区は、急カーブ(最小曲線 R = 7)、急勾配(最大勾配 I = 13%)が連続し、幅員狭小の交通の隘路区間であり、外に代替の無い唯一の生命線であるので、計画的な整備が求められている。 ・落石崩壊危険箇所が 5 箇所、さらに地滑り地帯であり早期の整備が求められている。 ・半島振興法に基づく半島循環道路に指定されているほか、災害対策基本法に基づく緊急輸送道路ネットワーク計画の中に位置付けられている。 ・下北半島の観光拡大、医療サービスの向上にも大きく寄与する。		(a) ・ b
適時性	・当該区間は、代替性のない路線で半島循環道路、緊急輸送道路として指定されているが、落石等の危険箇所や地滑り地帯と、非常にぜい弱な道路である。昨年 8 月 ~ 9 月にかけて道路決壊により孤立した 451 名在住 3 地域の例もあり、道路の整備は民生安定上重要である。 ・下北半島の観光客の入り込み数も増大し、恐山から仏ヶ浦という観光ルートも定着してきており、安全性・利便性向上、観光拡大のため道路整備の必要性が高まっている。		(a) ・ b
地元の 推進体制等	・むつ市長を会長とする下北郡の町村長、議会議長で構成する下北総合開発期成同盟会より、長後バイパスの早期完成を要望されている。 ・自然保護課との国定公園事業の同意事項変更協議も完了したほか、国有林管理者側との所管換手続きも完了し、関係機関との推進体制が整っている。		(a) ・ b
効率性	・本路線は、脇野沢 - 佐井間にある各集落を結ぶ唯一の道路であり、生活道路としてきわめて重要な路線である。本事業計画区間の現道には、H8 防災総点検における落石崩壊対策箇所が 5 箇所もあり、災害により全面通行止めになった場合、集落住民に多大な影響を与えることになる。よって長後バイパスの整備により、落石危険箇所の解消による地域住民生活道路の安全確保が図れる。また、緊急輸送道路の確保の面からも大きな効果がある。 ・下北半島の観光拡大に寄与し、地域の活性化、経済発展に効果がある。		

(3) 費用対効果分析の要因変化

A ・ B ・ (C)

区分	主な項目	計画時	再評価時	増減
費用項目 (C)	(1)事業費	2,277 百万円	2,639 百万円	362 百万円
	(2)維持管理費	451 百万円	469 百万円	18 百万円
	(3)	百万円	百万円	0 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総費用	2,728 百万円	3,108 百万円	380 百万円
便益項目 (B)	(1)走行時間短縮便益	1,782 百万円	1,992 百万円	210 百万円
	(2)走行経費減少便益	-25 百万円	-3 百万円	22 百万円
	(3)交通事故減少便益	-14 百万円	-5 百万円	9 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総便益	1,743 百万円	1,984 百万円	241 百万円
	B / C	0.64	0.64	
【費用対効果分析手法】 (分析手法、根拠マニュアル等) 費用便益分析マニュアル(案)道路・街路事業 【費用対効果分析における特記事項】 -				

(4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A) ・ B ・ C

コスト縮減	【コスト縮減の検討状況】 ・路盤材・舗装材に再生材を使用し、経費の縮減を図っている。 ・建設発生土を盛土材料として使用し、経費の縮減を図っている。	(a) . b
代替案	【代替案の検討状況】 ・地滑り対策工法として、深礎杭工・アンカー工を代替案として検討した結果、経済性、施工時の安全性を考慮し、現計画の押え盛土工法が優れている。	(a) . b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A) ・ B ・ C

住民ニーズの把握状況	【住民ニーズの把握方法】 ・むつ市長を会長とする下北郡の町村長、議会議員で構成する下北総合開発期成同盟会より、長後バイパスの早期完成を望む旨の要望が県へ出されている。	【住民ニーズ・意見】 ・下北半島において産業経済・教育・生活及び観光上きわめて重要な路線である国道338号における狭隘・急カーブ・急勾配箇所等の整備は地域振興上重要であり、長後工区の早期整備を求めている。	(a) . b
環境影響への配慮	【地域別環境配慮指針への対応】 (1)地域区分 <input type="text" value="S5a"/> (2)対応状況 <input type="text" value="配慮している"/> <input type="text" value="配慮していない"/>	【開発事業等における環境配慮指針への対応】 配慮している <input type="text" value=""/> 配慮していない <input type="text" value=""/>	(a) . b
地域の立地特性	【特記事項】 ・当該工区は、下北国定公園内にあるため、特に土砂及び濁水を流出させないことに配慮して工事を行うこととしている。 ・当該地区は過疎地域、山村振興区域、半島振興対策実施地域となっており、本路線は、半島循環道路、緊急輸送道路としても指定されている。 ・落石崩壊箇所、地滑り地帯でもあるが、他に代替のない唯一の生命線である。 ・当該地域の2次救急病院は、大間町立病院であり、本路線が医療サービス向上に対する役割は極めて大きい。 ・津軽国定公園内の公園道路(佐井牛滝線)として指定されている。		

3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	継続	計画変更	中止	休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	・半島循環道路として下北半島の観光拡大、緊急輸送道路の確保、危険箇所の解消などのため道路整備が必要であり、国有林野の所管換が終了したことにより今後積極的に工事を進めていき、事業効果の発現を図る。			
備考				

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり	対応方針(案)を修正すべき		
委員会評価	継続	計画変更	中止	休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見				
評価理由				